

マルト、ケーキ400個贈る

市内外の支援学校、福祉施設など

マルト(安島浩司代表取締役社長)は21日、いわき市、茨城県の支援学校や福祉施設など23施設にクリスマス用のデコレーションケーキ計400個を贈った。同事業は、山崎製パン、燈尚物産両いわき営業所が協賛し、4年前からスタート。安島社長らがいわき支援学校など各施設に足を運び、一足早いクリスマスプレゼントを届けた。



クリスマスケーキを受け取る利用者、施設関係者

きます」と満面の笑みで感謝の気持ちを伝えた。

くぼた校

いわき支援学校の高等

徒4人に手渡した。生徒たちは思いがけないクリスマスプレゼントを受け取り、感謝の気持ちを伝えていた。

部分校として勿来高内に設置する、特別支援学校高等部「いわき支援学校くぼた校」

いわき支援学校くぼた校にケーキを届けた伊藤正紀店長(前列右)

には、ケーキ4個が贈られた。同校への寄贈は今回初めて。

マルトS C窪田店の伊藤正紀店長が来校し、代表生



育成会本部

社会福祉法人育成会本部

部(高村トミ子理事長)

常磐下船尾町には、同会が運営するいわき学園、いわき育成園、いわき光成園、いわき希望の園の利用者、職員用にと、267人分のクリスマスケーキが届いた。

浜津敏彦マルト浅貝店長が訪れ、「クリスマスケーキを食べ、笑顔で新年を迎えてください」と述べ、施設利用者代表に手渡した。受け取った利

善意の寄付

◆スーパーマーケットなどを展開するマルト21日、いわき市の社会福祉法人育成会にクリスマスケーキ約270人分を贈った。



マルトの地域貢献活動の一環。ケーキは育成会が運営する知的障害者福祉サービス事業所4カ所の利用者や職員に振る舞われる。贈呈式が同市常磐下船尾町のいわき学園で行われた。マルト浅貝店の浜津敏彦店長が利用者の代表にクリスマスケーキを手渡した。写真

福祉施設にケーキ

いわき・マルトグループ

いわき市のマルトグループは21日、市内外の福祉施設などにクリスマスケーキを贈る活動を開始した。

障害のある子どもたちへの支援として4年前から行っている。社員が同市や茨城県の特別支援学校などを訪れ、25日までにケーキ計400個を届ける。